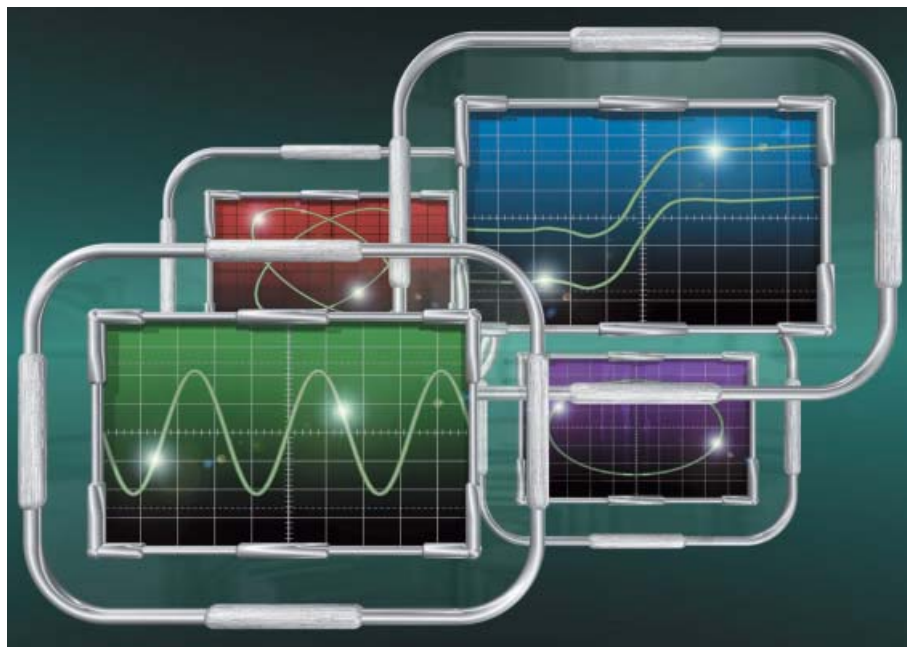


第54期 中間事業報告書

(平成15年4月1日～平成15年9月30日)



東洋合成工業株式会社

Toyo Gosei Co., Ltd

各事業部門のご紹介

感光材事業

Photosensitive Materials Business

当社は最新の高性能感光性材料を、半導体から液晶ディスプレイなどの製造工程に供給できるよう感光材研究所で研究開発しております。製品の高分像性と品質の安定性はユーザーより高い評価を受けております。



化成品事業

Fine Chemicals Business

当社は、香料材料分野の生産と新規商品の開発に力を注ぎ販路を世界に求め、順調に販売量を増加させております。また、高性能な蒸留設備を使用し、使用済溶剤類の精製による溶剤類のリサイクルに取り組むなど、環境問題の解決にも貢献しております。



ロジスティック事業

Logistics Business

化学メーカーが運営する物流基地という特色と、湾岸・京葉道路の至近に立地しているアクセスの良さに加え、ドラム缶への充填設備、ドラム缶・コンテナ保管用自動倉庫などの充実により、液体化学品の物流を支えております。



株主の皆様へ



代表取締役社長

木村 正輝

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国経済の状況は、輸出産業の活況を主因に、明るい兆しが見え始めております。しかしながら、先行きの不安要因もあり、まだまだ予断を許さない状況にあると考えられます。

感光材事業の主要関連業界であるエレクトロニクス業界は、ITバブルの崩壊後の低迷を脱し、本格的回復に向けた動きを活発化させており、当社の生産する感光性材料の需要は、今後着実に増加すると考えられます。化成事業の柱として市場開拓に取り組んでいる香料材料も順調に伸びております。また、本年4月に完成した液体化学品のドラム缶・コンテナ保管用自動倉庫も立地の良さなどが評価され、高い稼働率を維持し、ロジスティック事業の売上増に寄与いたしております。

感光材事業におきましては、今後急増するであろう感光性材料の生産体制の整備・強化を進める一方で、より微細加工可能なエキシマレーザー用感光材の新製品の開発と感光性材料のエレクトロニクス用途以外の分野への用途開発を進めてまいります。

化成事業におきましては、香料材料の新製品開発と市場開拓を進め、使用溶剤などのリサイクル事業にも取り組んでまいります。

ロジスティック事業につきましては、ドラム充填設備、ドラム缶・コンテナ保管用自動倉庫の完成により、液体化学品物流基地としての機能を充実させ、更なる顧客満足度の向上に努力してまいります。

また、本年4月より実施した事業部制組織と業績寄与度を加味した新賃金制度の定着化と同時に、効率経営の実現にむけ事業及び資産内容の見直しを進め、経済のグローバル化の進行に伴い激化する国際的価格競争に勝ち抜ける体制作りを進めてまいります。

今後とも株主の皆様のご期待とご信頼にお応えする所存でございますので、引続き倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、政府の緊縮財政による公共投資は減少したものの、好調な輸出に支えられ企業の設備投資は増勢に転じ、個人投資も緩やかながら改善傾向を示すなど、景気は足踏み状態から回復の兆しを見せはじめました。

当社の関連業界のエレクトロニクス産業界も、ITバブルの崩壊後足踏み状態が続いておりましたが、携帯電話などの携帯端末や、液晶テレビの好調に支えられ、液晶表示装置や半導体製造設備の増設も相次いで発表されるなど、本格的回復に向けた動きが顕著となっております。しかしながら、もう一方の関連業界である化学産業の電子産業用素材以外の汎用化学品業界は、国際的な価格競争にさらされ依然厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当社におきましては、売上、収益管理の徹底をはかるため従来の職能別組織から事業

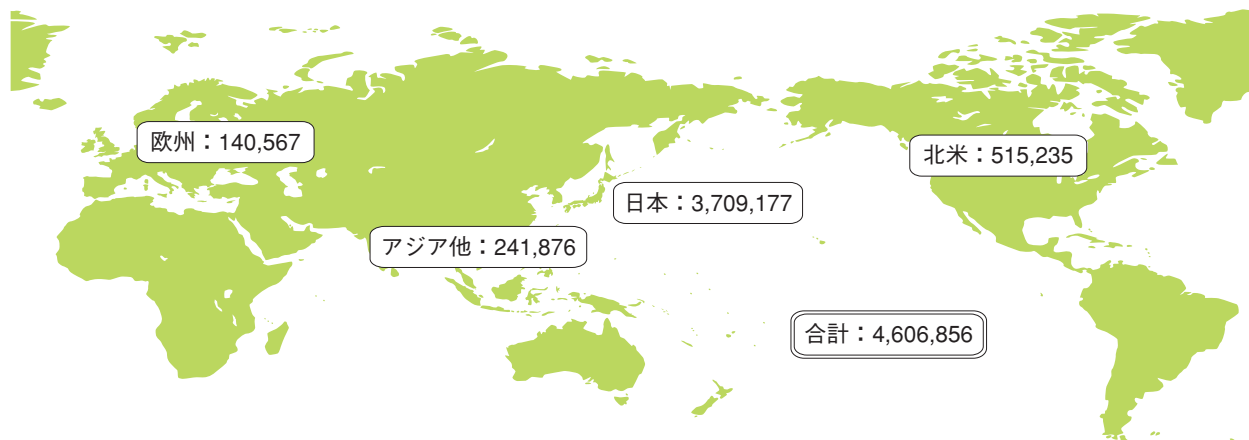
本部制に組織体系を変更する一方、今後の感光材の需要増に備えるため、設備補強など対策を実施し、香料材料の市場開拓にも努めました。

当中間期の前半は伸び悩みを見せていた感光材事業も後半には着実な伸びを示し、香料材料も順調に推移いたしました。しかしながら、前年下期の競争激化による感光材の売価引下げと、前中間期の感光材事業が非常に好調であったことなどから、当中間期の売上、収益ともに前年同期を下回る結果となりました。

当中間期の売上高は、4,606,856千円（前年同期比△78,296千円、△1.7%）となり、営業利益は、434,475千円（前年同期比△38,630千円、△8.2%）、経常利益は、265,606千円（前年同期比△32,536千円、△10.9%）、当中間純利益は94,031千円（前年同期比△37,993千円、△28.8%）となりました。

地域別売上高

（単位：千円）



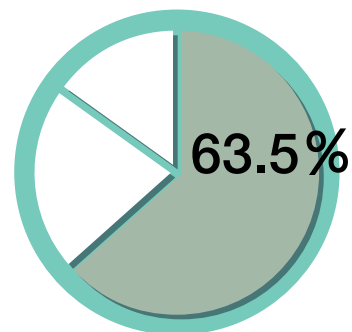
部門別の概況

感光材事業

当事業の主要関連業界である半導体・電子産業は、ITバブルの崩壊といわれる状況から、前期上半期は需要が回復したものの、下期に入り再び需要が伸び悩みましたが、当期上期に入り回復基調に転じ、上期後半は順調な伸びを示しました。

こうした状況を受け当事業の売上高は、前年下期の価格競争の激化による売価の引下げ、前年上期の好調な売上の影響により、売上高2,925,008千円（前年同期比△123,530千円、△4.1%）となりました。

用途別では、エキシマレーザー用は前年同期比7.6%増加いたしました。半導体全体では前年同期比△14.4%となり、液晶向けも前年同期比△8.5%となりました。

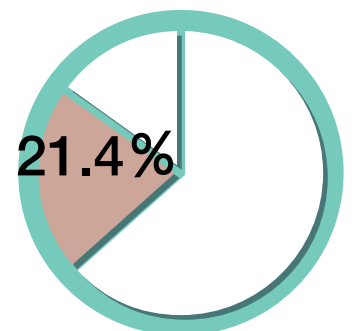


売上高比率
(平成15年9月期)

化成品事業

当事業の関連業界の汎用化学品業界は、国際的な価格競争の波を受け厳しい状況が続いており、事業環境は厳しさを増しております。こうした中、当社は永年培った高度な合成・精製分離技術と、少量多品種生産能力を活かした積極的な営業を展開いたしました。

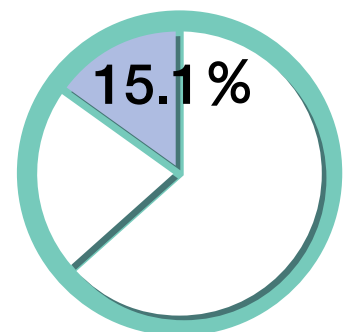
この結果、香料材料が前年同期比11.0%増加したこともあり、当事業の売上高は、986,272千円（前年同期比△34,260千円、△3.4%）となりました。



売上高比率
(平成15年9月期)

ロジスティック事業

前期に実施した液体化学品保管タンクの増設、当期4月に実施したドラム充填所及びドラム缶保管用自動倉庫の新設による液体化学品総合物流基地機能強化策が売上に寄与し、当事業の売上高695,575千円（前年同期比+79,494千円、+12.9%）となりました。



売上高比率
(平成15年9月期)

注) 上記、各事業部別・売上高前年同期比は、前年実績を当中間期において用いた事業本部制による区分に変更し、対比しております。

全危険物立体自動倉庫完成

■ロジスティック事業（高浜油槽所）

高浜油槽所のLPG事業撤退に伴う跡地利用計画のⅡ期工事として、昨年末に建設を開始した危険物立体自動倉庫は本年4月より稼働を開始しました。

倉庫規模 高さ20m×横53m×幅13.6m

保管能力 ドラム換算 10,000本

特徴 自動走行クレーン3台、コンピューターオンライン制御システム、倉庫内温度制御換気システムによって、多品種、少ロット、多種多様な容器でも、間違いのない保管及び入出庫を行います。また、営業倉庫・保税倉庫の取得に伴い、輸出入業務が円滑に行なわれるようになりました。



全自動ドラム充填設備完成

■ロジスティック事業（高浜油槽所）

本年4月全自動充填機採用により空缶導入から充填・計量・キャップシールまで完全自動化を実現致しました。

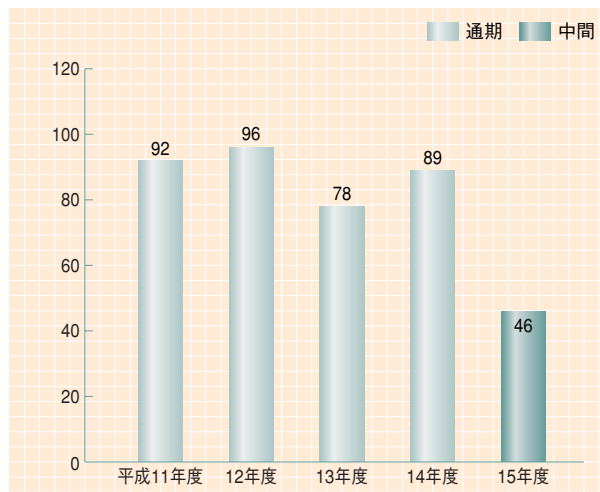
充填数量については全て自動計量し、かつデータ保存機能により、正確な充填作業を確認できます。また構内61基の各貯蔵タンクと専用配管で結ぶことにより、コンタミネーションの心配もありません。

同時期完成の立体自動倉庫と併せて空缶納入から充填実入缶保管までドラムにかかわる一連の作業をすべて屋内で実施し、容器の損傷・汚損を防止いたします。

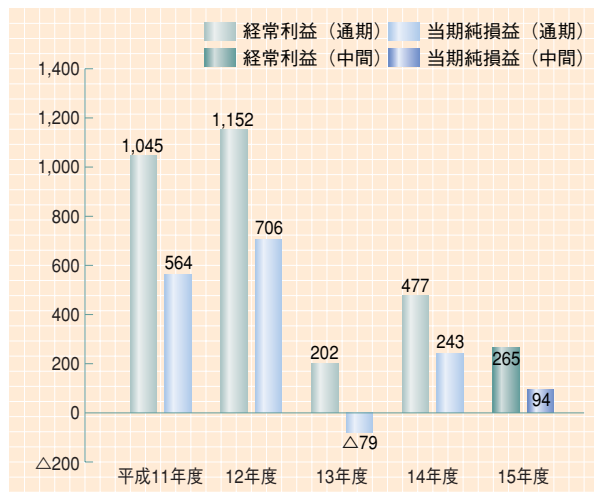


業績等の推移

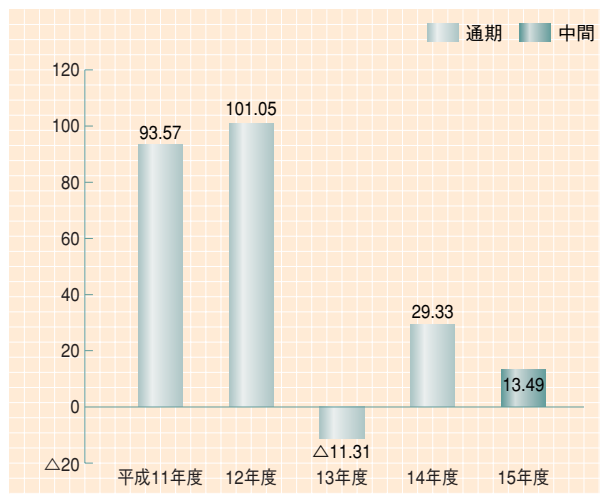
■売上高 (億円)



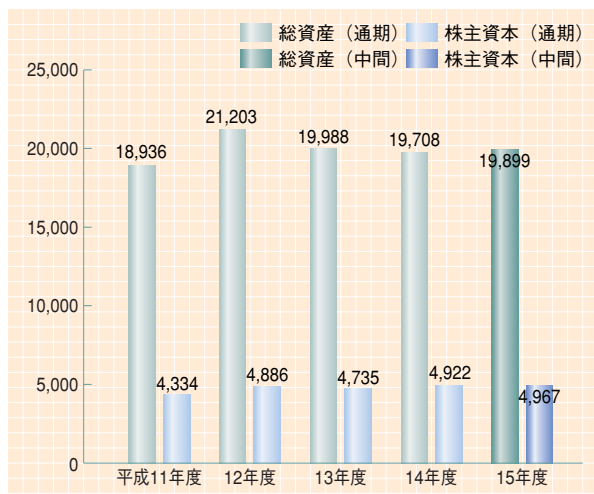
■経常利益・当期純損益 (百万円)



■1株当たり当期純損益 (円)



■総資産・株主資本 (百万円)



財務諸表

中間貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期	前 期
		平成15年 9 月30日現在	平成14年 9 月30日現在	平成15年 3 月31日現在
資産の部				
流 動 資 産		6,858,219	6,697,923	6,609,408
現金及び預金		1,656,005	1,846,027	1,786,844
受取手形及び売掛金		1,915,661	1,791,364	1,573,092
たな卸資産		3,109,124	2,927,418	3,085,525
そ の 他 の 資 産		179,656	135,246	165,822
貸倒引当金		△ 2,229	△ 2,134	△ 1,876
固 定 資 産		13,041,556	12,828,577	13,098,732
有形固定資産		11,830,583	11,697,906	11,895,616
無形固定資産		212,447	236,479	231,234
投資その他の資産		998,524	894,191	971,880
資 産 合 計		19,899,776	19,526,500	19,708,140
負債の部				
流 動 負 債		8,033,974	7,936,794	7,964,514
支払手形及び買掛金		1,317,653	1,568,342	1,823,041
短期借入金		3,440,000	3,010,000	2,820,000
一年以上返済予定長期借入金		2,569,340	2,875,752	2,721,368
未払法人税等		169,095	99,736	185,817
賞与引当金		183,342	190,657	181,901
そ の 他 の 負 債		354,543	192,305	232,385
固 定 負 債		6,897,947	6,742,386	6,821,407
長期借入金		6,217,080	6,017,220	6,063,100
退職給付引当金		581,625	614,269	643,957
役員退職慰労引当金		99,241	110,897	114,349
負 債 合 計		14,931,922	14,679,181	14,785,921
資本の部				
資 本		800,088	800,088	800,088
資 本 剰 余 金		695,397	695,397	695,397
利 益 剰 余 金		3,447,724	3,350,535	3,426,652
その他有価証券評価差額金		36,337	1,686	792
自 己 株 式		△ 11,694	△ 390	△ 712
資 本 合 計		4,967,853	4,847,319	4,922,219
負 債 及 び 資 本 合 計		19,899,776	19,526,500	19,708,140

中間損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期	前 期
		自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売 上 高		4,606,856	4,685,152	8,970,977
売 上 原 価		3,363,399	3,489,877	6,686,304
売 上 総 利 益		1,243,456	1,195,274	2,284,673
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		808,980	722,168	1,463,990
営 業 利 益		434,475	473,106	820,682
営 業 外 収 益		19,814	29,913	51,511
営 業 外 費 用		188,683	204,876	394,691
経 常 利 益		265,606	298,143	477,502
特 別 利 益		9,351	6,931	6,931
特 別 損 失		5,515	28,002	47,104
税引前中間(当期)純利益		269,442	277,073	437,329
法人税、住民税及び事業税		86,000	80,000	172,000
過年度法人税等修正額		69,411	-	-
法人税等調整額		19,999	65,047	22,222
中間(当期)純利益		94,031	132,025	243,106
前期繰越利益		73,082	43,657	43,657
中間配当額		-	-	34,964
中間(当期)未処分利益		167,113	175,682	251,800

会社の概要 (平成15年9月30日現在)

- 商 号 東洋合成工業株式会社
- 設 立 昭和29年 9 月27日
- 資 本 金 800,088,703円
- 本社所在地 千葉県市川市上妙典1603番地
- 従 業 員 数 265名
- 事 業 内 容 有機工業薬品・有機溶剤等の製造ならびに販売
画像形成用の感光性材料等の製造ならびに販売
電子表示機器の材料等の開発、製造ならびに販売
倉庫業（液体化学品の保管管理）
貨物運送取扱業
- 事 業 所 東京営業所
東京都中央区八丁堀 4 丁目13番 1 号
高浜油槽所
千葉県市川市高浜町 7 番地
感光材研究所
千葉県印旛郡印旛村若萩 4 丁目 2 番 1
市川工場
千葉県市川市上妙典1603番地
千葉工場
千葉県香取郡東庄町宮野台 1 番51
ヨーロッパ事務所
Teleport Towers. Kingsfordweg 151
1043 GR Amsterdam The Netherlands
- 関 係 会 社 ケミカルトランスポート株式会社
東海ケミカル輸送株式会社
TG Finetech Inc.

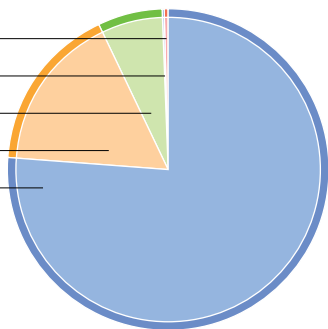
- 役 員
- 代表取締役社長 木 村 正 輝
- 専 務 取 締 役 春 田 雅 彦
- 常 務 取 締 役 青 木 久 昂
- 取 締 役 菊 池 薫
- 取 締 役 木 村 正 子
- 取 締 役 稲 垣 毅 夫
- 取 締 役 越 後 谷 桂 之 介
- 常 勤 監 査 役 伊 藤 衛
- 監 査 役 安 田 瑛 太 郎
- 監 査 役 宮 田 勲
- 監 査 役 岡 野 早 苗

株式の状況 (平成15年9月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	20,000,000株
■ 発行済株式の総数	6,993,390株
■ 株主数	764名

株式の分布状況

外国法人等	0.4%
証券会社	0.2%
その他の法人	6.5%
金融機関	16.7%
個人その他	76.2%

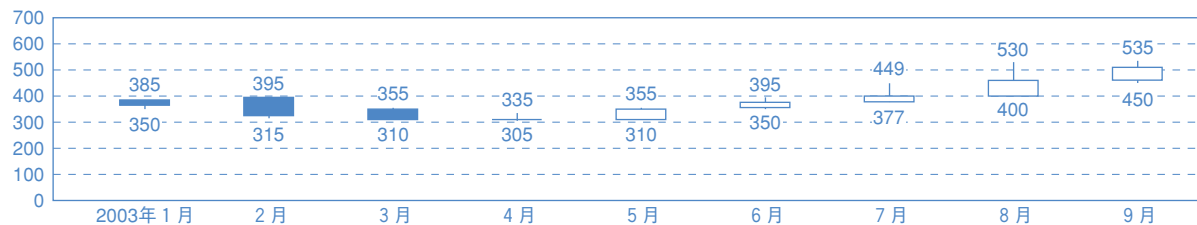


大株主

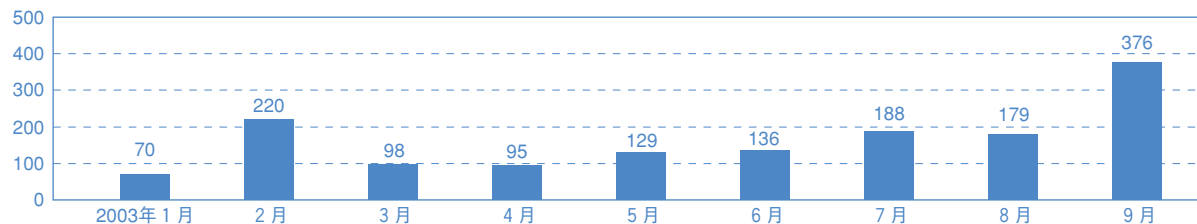
株主名	持株数	議決権比率
木村正輝	2,128,470株	30.4%
株式会社千葉銀行	298,100	4.3
株式会社東京都民銀行	298,000	4.3
木村有仁	279,000	4.0
木村愛理	279,000	4.0
片岡彰	240,000	3.4
木村源四郎	210,000	3.0
東洋合成工業社員持株会	187,220	2.7
昭和エンジニアリング株式会社	170,000	2.4
ニッセイ同和損害保険株式会社	140,440	2.0

株価の推移

株価 (円)



売買高 (千株)



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
配当金受領株主確定日	3月31日
	中間配当を実施するときは9月30日
基準日	毎年3月31日
	※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
1単元の株式数	1,000株
公告掲載新聞	日本経済新聞
	決算公告については、当社ホームページ (http://www.toyogosei.co.jp/) に掲載しております。
株式名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先及び連絡先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-5213-5213 (代表)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
単元未満株式の買取請求	単元未満株式の買取りは上記の名義書換代理人の事務取扱場所及び取次所でお取扱いいたしております。

東洋合成工業株式会社

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地

TEL047-327-8080 FAX047-327-8085

<http://www.toyogosei.co.jp/>

